

第6次

桂川町総合計画 —— 後期基本計画 ——

令和8年度 ▶▶▶ 令和12年度

概要版



令和8年3月
桂川町

計画策定の趣旨と位置づけ

計画の趣旨

桂川町では「自然と文化が息づく笑顔あふれるまち“けいせん”」の実現を目指し、令和3年に第6次桂川町総合計画を策定しました。前期基本計画として、福岡都市圏との連携強化、子育て・教育環境の充実、地域資源の活用による産業振興、そして誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを重点施策とした取組を推進してきましたが、前期計画の計画期間が令和7年度をもって終えたことを受け、令和8年度から令和12年度を計画期間として、新たに第6次桂川町総合計画 後期基本計画を策定いたしました。

本計画は、「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念としながら、「自然と文化が息づく笑顔あふれるまち“けいせん”」の実現を目指し、計画的かつ柔軟な施策の推進に取り組む指針として、町民と行政が協働し持続可能で魅力ある地域社会の構築に向けて策定するものです。

計画の構成と期間

本計画の構成は基本構想・基本計画の2層とし、計画期間は基本構想10年間（令和3～12年）、後期基本計画5年間（令和8～12年）とします。

項目	内容
基本構想 （10 年間） 令和3～12年 本町が目指す将来像を明らかにし、その実現のための各分野に掲げる基本目標を示すものです。	将来像 ■ 基本理念：まちづくりの基本となる考え方 ■ 将来像：令和12年に目指すまちの姿（目標人口：令和12年に目指す定住人口） ■ 土地利用：土地利用の方向性 6つの基本目標（まちづくりの方向性） 将来像の実現に向けて各分野に掲げる基本目標
基本計画 （5年間） 前期：令和3～7年 後期：令和8～12年 各分野における具体的な政策と施策を示すものです。	重点プロジェクト 将来を見据えて特に重点的に取り組んでいく内容を、2つのプロジェクトにまとめています。これを令和8年から5年間、重点的に取り組みます。
	分野別計画 政策：基本目標を実現するための分野における方針 施策：政策を実現するための具体的な対策

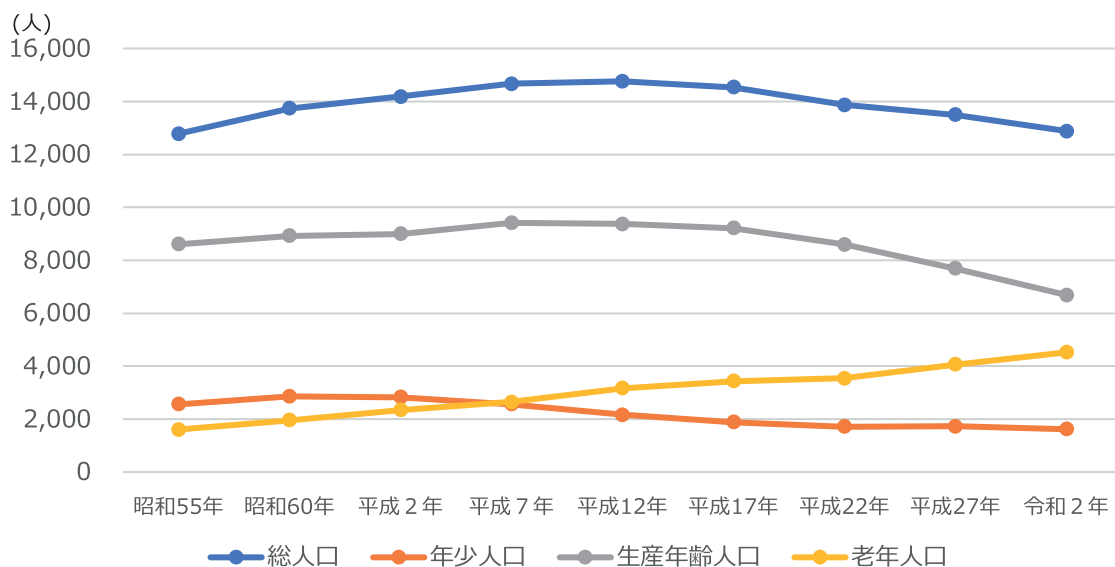
人口の動向

年齢3区分別人口の推移

昭和55年以降の国勢調査による桂川町の人口の推移を見ると、総人口は、平成12年をピークに以降は減少に転じています。年齢3区分別人口でみると、年少人口(0～14歳)が一貫して減少傾向、老年人口(65歳以上)が一貫して増加傾向となっており、平成7年に老年人口が年少人口を上回っています。生産年齢人口(15～64歳)は、平成7年をピークに減少に転じており、令和2年の国勢調査結果では、年少人口が1,618人、生産年齢人口が6,690人、老年人口が4,523人となっています。

少子高齢化は急速に進行しており、総人口に占める老年人口の割合を示す高齢化率は35.1%で住民の3人に1人以上が65歳以上の高齢者となっています。

■町の総人口と年齢3区分別人口の推移■



単位: 人、%

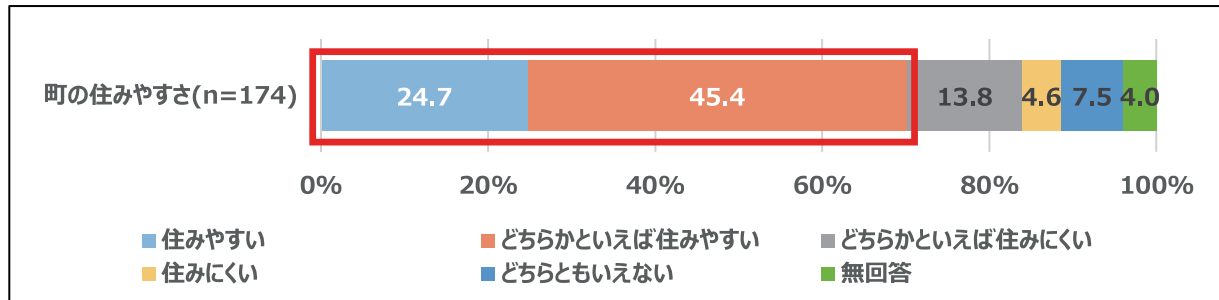
集計年	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
総人口	12,780	13,741	14,182	14,667	14,760	14,535	13,863	13,496	12,878
年少人口	2,563	2,859	2,824	2,558	2,167	1,880	1,719	1,725	1,618
生産年齢人口	8,608	8,921	8,999	9,414	9,369	9,217	8,592	7,694	6,690
老年人口	1,609	1,961	2,346	2,649	3,173	3,438	3,545	4,065	4,523
年齢不詳	0	0	13	46	51	0	7	12	47
高齢化率	12.6	14.3	16.5	18.1	21.5	23.7	25.6	30.1	35.1

資料: 総務省「国勢調査」

住民アンケートからみた「町民意識」

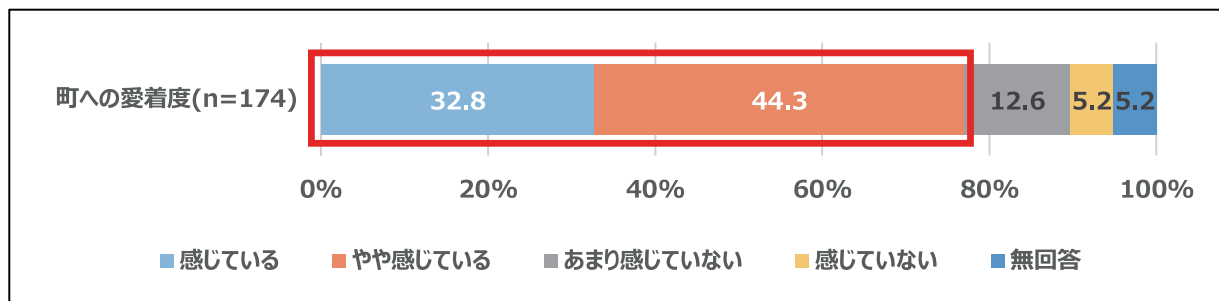
町の住みやすさ

町の住みやすさについて尋ねたところ、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた割合が、合わせて70.1%と、全体の約7割が桂川町は住みやすいまちであると評価しています。



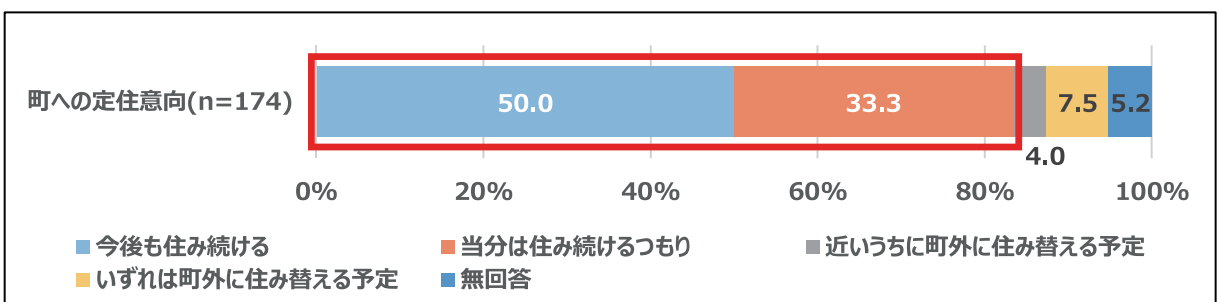
町への愛着度

町への愛着について尋ねたところ、「感じている」「やや感じている」と答えた割合が、合わせて77.1%と、全体の8割弱が桂川町に愛着を感じていることがわかります。



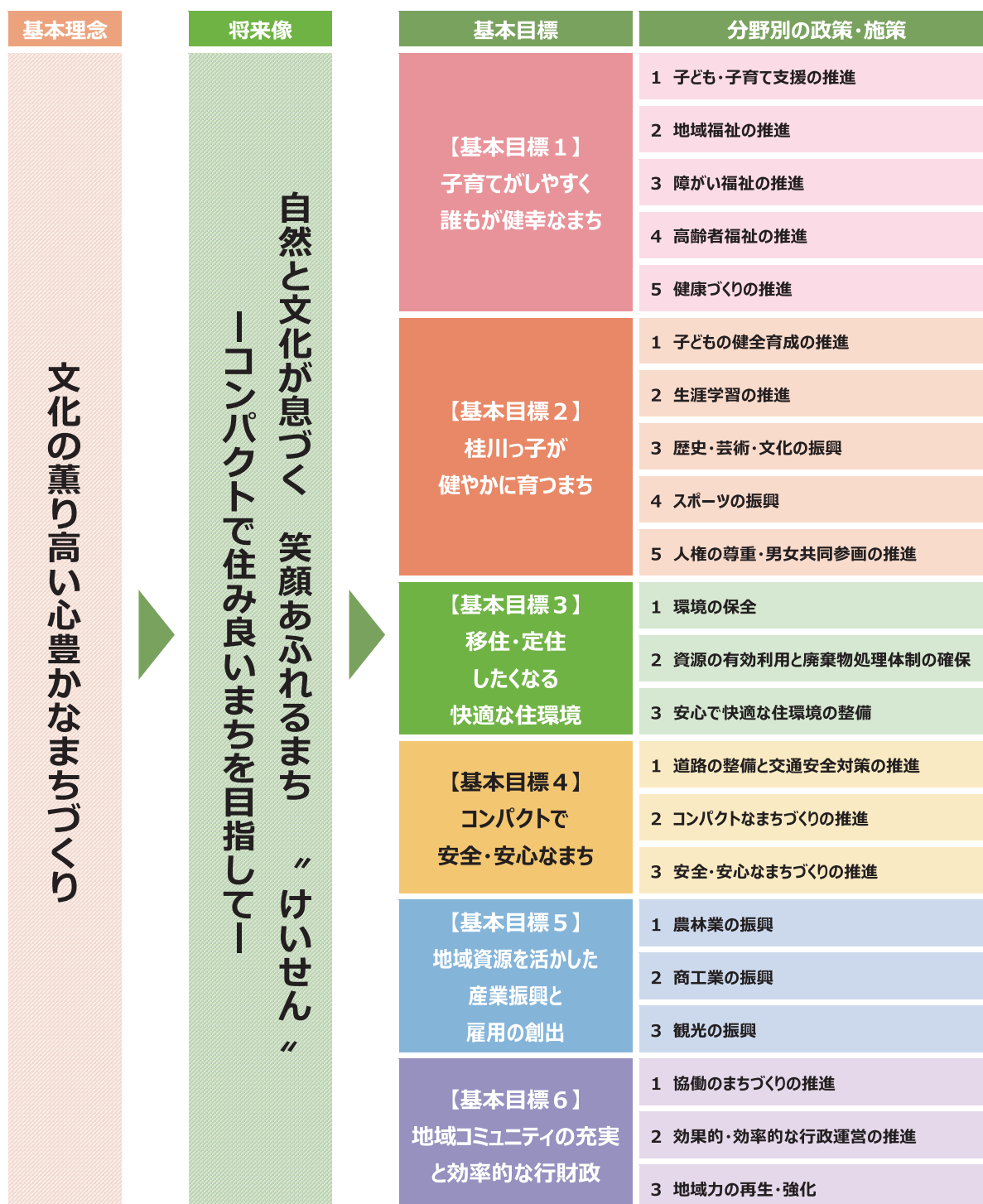
町への定住意向

町への定住意向について尋ねたところ、「今後も住み続ける」「当分は住み続けるつもり」と答えた割合が、合わせて83.3%と、全体の8割強が今後も桂川町に定住する意向を示しています。



総合計画の体系

基本構想を形作る「将来像」と「6つの基本目標」は、計画策定のための基礎調査を整理し生まれたものであり、計画期間における分野別の方向性や、どのようなまちを目指すかの「想い」を記したものです。この想いを実現するために実施する取組をまとめたものが基本計画です。



まちづくりの基本方針

基本目標

1

子育てがしやすく誰もが健幸なまち

妊娠期から子育て期にわたり、「こども家庭センター」と「子育て支援センター」を拠点として相談や支援に関する情報提供を行い、安心して子育てができる環境を整えます。あわせて、保育士の確保や保育施設の計画的な整備に取り組むとともに、学童保育の充実や子ども・保護者が気軽に集える居場所づくりを進めます。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
子どもを産み・育てやすいまちだと思う町民の割合	%	56.6 (令和5年度調査)	67.0 (令和11年度調査予定)
合計特殊出生率（人口動態統計特殊報告）	—	1.58 (平成30～令和4年)	1.68 (令和5～9年)

基本目標

2

桂川っ子が健やかに育つまち

幼保小中の連携を充実させ、学びのつながりを大切にした教育や教育環境の整備を進めます。また、地域と学校が協力した体験活動や学びの場を充実させるとともに、文化やスポーツ、人権学習を通じて、子どもから大人まで健やかに成長する環境づくりに取り組みます。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
全国学力・学習状況調査標準化得点 (全国平均を100とする)	% (令和8～9年度) IRTスコア (令和10～12年度)	【小学生】 国語：95.7 算数：102.1 【中学生】 国語：90.8 数学：83.3 (令和7年度)	全国平均以上 (令和12年度)
電子図書館における年間閲覧回数	回	2,619 (令和6年度)	3,119 (令和12年度)
人権講演会参加人数	人/回	249 (令和7年度)	256 (令和12年度)

基本目標

3

移住・定住したくなる快適な住環境

環境美化活動や打ち水などを継続し、町民参加による自然環境の保全と環境意識の向上に取り組めます。また、ごみの減量化やリサイクルの推進に向けた啓発を行うとともに、広域連携による安定的なごみ処理体制を維持します。さらに、身近な公園・緑地の整備や適切な維持管理、合併処理浄化槽の普及促進により生活環境の改善を図ります。

その他、耐震改修やブロック塀撤去への支援、空き家バンクの活用、水道施設の計画的な更新を進め、安心して快適に暮らせる住環境づくりを推進します。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
転入者数	人	483 (令和6年)	2,345 (令和7～11年累計)
転出者数	人	492 (令和6年)	2,420 (令和7～11年累計)

基本目標

4

コンパクトで安全・安心なまち

道路舗装の計画的な更新や幹線道路の整備を進めるとともに、通学路の合同点検や警察と連携した交通安全教室を実施し、交通事故の防止に取り組めます。また、市街地では土地利用の方向性を明確にし、遊休地の利活用や民間活力をとり入れた整備を図ります。あわせて、路線バスの運行支援や定期券購入補助により持続可能な公共交通の構築を図ります。さらに、避難行動要支援者の個別計画作成、防犯啓発の強化、消防団活動への支援を行い、災害や犯罪に備えた安全・安心なまちづくりを進めます。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
交通事故年間発生件数	件	36 (令和6年12月末時点)	22 (令和12年12月末時点)
刑法犯認知件数	件	56 (令和6年度)	48 (令和12年度)

基本目標

5

地域資源を活かした産業振興と雇用の創出

農林業では、国や県の制度に加え町独自の支援の創設を図り担い手の育成・確保を進めるとともに、特産品開発補助金を活用し、桂川町ブランドの創出と地産地消を推進します。また、商工業では商工会等と連携し、事業者のデジタル化支援や創業促進に取り組むとともに、多様な人が働ける環境づくりを進めます。

その他、国指定特別史跡「王塚古墳」や「ゆのうら体験の杜」を活かした観光振興や、ふるさと納税を通じた情報発信により、関係人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
認定農業者数	人	14 (令和3～7年度)	20 (令和8～12年度)
町内常在の町内従業員の割合	%	29.7 (令和6年度)	30.0 (令和12年度)
ふるさと納税寄附件数	件	13,645 (令和6年度)	27,000 (令和12年度)

基本目標

6

地域コミュニティの充実と効率的な行財政

ホームページや公式LINEなど多様な媒体を活用し、行政情報を分かりやすく発信するとともに、審議会委員の公募やパブリックコメントを通じて町民参画の機会を広げます。また、広域連携により行政サービスの維持・向上を図り、マイナンバーカードを活用した手続きの利便性向上を進めます。さらに、地域はつらつ応援助成金による町民主体の活動支援や、体験学習を通じた郷土愛の醸成を進め、行政区加入の促進と地域コミュニティの維持・強化に取り組みます。

■ 政策評価指標（KGI） ■

指標名	単位	基準値	目標値
桂川町への愛着度	%	77.1 (令和7年度調査)	87.6 (令和12年度調査予定)
将来負担比率	%	発生せず (令和6年度)	10.0%以下 (令和12年度)
行政区加入率	%	73.9 (令和6年度)	維持 (令和12年度)

第6次 桂川町総合計画 後期基本計画（概要版）